



同窓会だより

発行 愛知工業大学名電高等学校同窓会

〒464-8540 名古屋千種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0311 (代表)

題字は後藤泰名古屋電気学園学园长・総長

春草萌えいずる季節を迎え、会員、関係各位の皆様にはご健勝にてご活躍のこととお喜び申しあげます。我々の同窓会も発足から百年の節目を迎えることができました。これもひとえに皆様のご理解とご支援によるものと存じ上げます。今年は何か記念になるような取り組みを皆様とともに考えたいと思っております。先般、開催されました第二回ホームカミングデイでは、充実した現在の母校を隅々まで見学でき、懐かしい先生方との座談会も行われ、思い出話に花が咲きました。また、ある先輩には、欠けていました古い会報「エレキ」など貴重な資料をご寄贈いただきました。このような活動をより一層充実させて参りたいと思っております。

同窓会では、部活動支援の一環として全国大会出場クラブに対して激励を行っておりますが、文武両道を活躍する生徒たちを支援

永井広明会長
(昭和51年卒業)



掲げる母校の在校生は活躍著しく、直近ではバレー部が春高バレーに出場し、私も熱い気持ちで応援させていただきました。卓球部や水泳部は世界ジュニア大会で入賞を果たしましたし、運動部の活躍は枚挙に暇がありません。文化系でも全国大会最多出場を誇る吹奏楽部をはじめ、将棋部の全国大会出場など素晴らしい限りです。今後も在校生の支援を行って参りたいと存じます。

さて、ここで皆さんにひとつご紹介したい、あまり知られていない逸話があります。私は常々、名古屋電気学園は先進の気概を持った学園であるとは思っておりましたが、先日テレビでアニソンの番組が放映されており、その中で「アニソンの大家」として、渡辺宙明氏が取り上げられておりました。渡辺宙明氏は何と、我が名古屋電気学園歌の作曲者なのです。皆さ

んもご存知であろう「マジンガーZ」「宇宙刑事ギャバン」「みんなのサザエさん」「ふたりはプリキュア」の挿入歌等、アニソンを数多く手がけられておりますが、校歌は名古屋電気学園だけです。近未来の工業技術を想像し、ロボットアニメなどSFもののテーマ曲を沢山作られた渡辺氏。一方、学園歌を委嘱した名古屋電気学園も、教育を通じて素晴らしい近未来の工業技術を創造しています。何か不思議な縁を感じます。今後、先人の方々の先進の気概を受け継ぎ、皆様に愛され、支持されるよう同窓会運営に努めて参りますので、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

中学校と高校が一体で

後藤泰之理事長
(同窓会名誉会長)



今年で創立百六周年を迎える名古屋電気学園は、工科系総合学園として、「ものづくりを通しての人づくり」という精神のもと、これまで発展、充実することができました。これもひとえに教職員はもとより各設置校の同窓生の皆様のご理解、ご協力によるものと心から感謝申し上げます。

理事長と併せて学長を務めております愛知工業大学では、学生に安全で快適な学びの場を提供するための環境整備の一環として、昨春秋に応用化学科に「バイオ環境化学実験棟」を建設いたしました。また九月には、自由ヶ丘キャンパスに新校舎を増築いたします。

四月には、愛知工業大学附属中学校が「愛知工業大学名電中学校」に校名変更いたします。これまでの歴史と伝統を継承しつつ、中学校と高校が「愛工大名電」の名のもとに一体となって、さらに活力と魅力にあふれた学校になるよう取り組んで参る所存でございます。同窓生の皆様には、ぜひ今後とも本学園に変わらぬご支援をお願い申し上げます。

第二回 ホームカミングデー

愛知工業大学名電高等学校同窓会主催の「ホームカミングデー」が昨年十一月十二日、若水キャンパスで開かれました。今回で二回目となった里帰り企画では、同窓生の絆を深めようと恩師を交えた座談会も計画。次々と母校に足を運んだ同窓生たちは、懐かしい高校時代に戻って旧交を温め合いました。

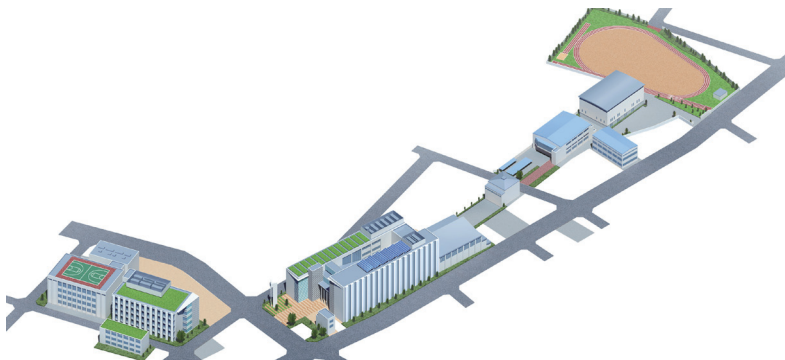


午前九時に受け付けが始まり、そろいの白いジャンパー姿の若手クラス幹事らが対応しました。この日は武道場前でチアリーディング部の練習風景が披露されたほか、淳和記念館では吹奏楽部の演奏会も開かれました。



第三回ホームカミングデー 開催のお知らせ

愛知工業大学名電高等学校同窓会ホームカミングデーを今年も開催いたします。みなさまのご参加をお待ちしております。



イベントの詳細や日程などはホームページでお知らせいたします。
<http://meidencoming.hatenablog.com/>
サポートスタッフ募集とホームカミングデーのイベント開催のご意見も募集しております。



「後輩たちの練習成果に熱心に見入った同窓生からは「すれ違う生徒たちが、どの子も丁寧に挨拶してくれる。名電がパンカラだった時代を過ごした自分には、違う学校を訪れたような新鮮な驚きがあります」との感想が聞かれました。



恩師を交えて座談会

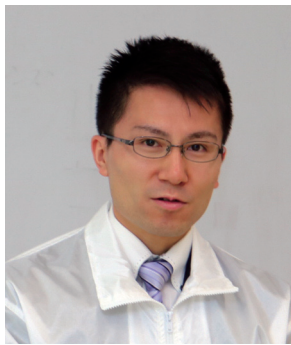
座談会は北校舎三階アクティブラーニング室で開かれました。恩師二人と同窓生九人が参加し、恩師であり昭和三十七年電気通信科卒業生でもある羽佐田修二先生が司会進行を務めました。



羽佐田修二先生（左端）

参加した同窓生の年齢層は、七十代七人と二十代二人。最年長の佐藤左一郎さんと嶋津昇さんは同級生で、懐かしい写真や当時の貴重な資料を手に、連れ立ってやってきました。

座談会はそれぞれの自己紹介から始まり、入学の動機、卒業後に歩んだ道、今と昔の学習環境の違いなどを世代を超えて話し合いました。



木村敬一さん



佐藤左一郎さん

嶋津昇さん



中島寛さん

座談会出席者（敬称略）

【恩師】藪武光（昭和38年～平成13年・保健体育科）▽羽佐田修二（昭和39年～48年、53年～平成23年・電子科）＝司会担当

【同窓生】佐藤左一郎（昭和33年電気科卒）▽嶋津昇（同）▽末廣（旧姓庄司）肇（昭和34年電気科卒）▽中島寛（昭和35年電気科卒）▽今津孝（昭和39年電気科卒）▽丹羽宗彦（昭和40年機械科卒）▽森田千明（昭和40年電気科卒）▽酒井亮平（平成21年普通科卒）▽木村敬一（平成23年科学技術科卒）



藪武光先生

「運動部の指導に精を出した教師時代、教育は愛情一本だと信じてやってきました。思いやりがないと生徒はついてきません。きょう再会した教え子たちから『先生を忘れることは一生ない』と言ってもらえました。ありがたいことであり、立派に成長してくれたことをうれしく思います。これからも家庭に仕事に、頑張ってくれたらと期待しています」



末廣肇さん

「高校時代はいい思い出ばかりではないんです。六十歳のときにあったクラス会に参加したのがきっかけで、卒業後は遠ざかっていった母校への懐かしさが湧



丹羽宗彦さん

酒井亮平さん



今津孝さん



森田千明さん

普通科選抜クラスに在籍した酒井亮平さんは、卒業年が四十四年も離れた丹羽宗彦さんと、互いの学校生活について大いに盛り上がりつつありました。「新旧を超えたつながりが見えました」と、満足そうに感想を話しました。

き上がりました。きょう、こうやって母校を訪れ、世界が違うんじゃないかと思えました。来てよかった。僕らがいた時代よりも、ほんとうにいい学校になりました。いまは長野県の天竜村に住んでおり、ご近所から家電製品の修理を頼まれることがあります。名電高校で学んだ日々はまんざら捨てたものじゃなかったんだなど、いまさらのように味わっています」

同窓生の活躍

オフィスプランニングの会社で営業部長をしていた私は勤続二十七年目の平成二十六年、突然、転職を決意しました。幼少の頃から手塚治虫さんの作品が好きで、以前から「鉄腕アトムコレクター」という肩書で、全国各地でコレクション展やトークショーを開催、テレビ・ラジオ出演、執筆まで幅広く活動してきました。平成二十七年には淳和記念館でも「私たちの未来の夢 鉄腕アトム展」を開催、そんな経緯もあり、趣

卒業して半世紀以上経ちます。私の高校までの道のりは、朝六時半に四日市市の家を出て、近鉄と地下鉄を乗り継ぎ、片道二時間を要しました。入学時、三人だった通学仲間が一年後には後輩三人が加わり、六人が一団となって楽しく登校しました。雨にも負けず、風にも負けず。ひ弱な体も逞しく健康になりました。卒業後、親父一人で切り盛りしていた家業を手伝うこととなりました。三年間の授業で電気知識を付け

味で培ったイベント開催のノウハウを活かした仕事をしたいと五十四歳にして新たな世界に挑戦する決心をしたのです。

周りの心配をよそに、自分の新たな可能性を試せる

人脈は人望をつくり、人望は人格をつくる (昭和53年卒業)

ことにワクワク感を押さえきれませんでした。そして、平成二十七年、知多市勤労文化会館館長に就任、現在は名古屋市東区のウイールあいち(愛知県女性総合センター)で所長を務めています。ウイールあいちには八百人

収容の大ホールから会議室、スタジオ、ライブ러리、レストラン、宿泊施設まで兼ね揃えた複合文化施設です。私は所長として施設の管理運営とイベントやコンサートの企画など、ま

小池信純さん

さに転職が天職と巡り合うきっかけとなりました。

休日ともなれば鉄腕アトム活動に出向き、公私共々、多くの方々とお会いする機会に恵まれ、長年にわたって培ってきた人脈は最も大切な財産です。それは仕事

させられました。

消防活動は火災発生時の迅速な消火活動はもとより、日常的には消火訓練や地区の安心・安全のための自動体外式除細動器(AED)、消火器、消火栓など

消防団活動四十六年

親父にはかありません。

親父はボランティア精神旺盛で、自治会、民生委員、保護士、神社総代、寺総代などを引き受けていました。そんな関係もあって卒業と同時に、仕事のかたわら、地元の消防団に入団

森 浩三さん (昭和40年卒業)



の取り扱いは方々指導を行います。また、暴風警報、高潮警報などの発令時は、防潮堤の開閉など、臨機応変

とか趣味とかを超越した財産であり、最近、特にその境界線が無くなりつつあるのを実感しています。また平成



二十二年に私が代表として発足した様々なジャンルの趣味人の

会「熱中凝歴人倶楽部(ねっちゅうコレクタークラブ)」は現在会員数二百二十名を越え、年に何度か懇親会と称し情報交換をしています

に適宜対応することになります。

火災、災害に遭遇し、けがや死にかけたこともありましたが、瞬くまに四十年がすぎ、いつしか分団長になりました。分団長は、経験が少なく血気盛んな若い団員が負傷しないよう、指示を発する責務を負います。幸いにも一人もけがなく、責務を果たすことができました。

平成二十三年、藍綬褒章を頂き、初めて皇居に参拝しました。国から頂いた褒章を卒業証書と思いい、翌年

ます。会の名誉会長には、懇意にしていただいているテレビでもお馴染みのブリキのおもちや博物館館長北原照久さんをお願いしました。会員には愛知工業大学鉄人プロジェクトの古橋教授、西山客員講師をはじめ、イベント仲間であり、コレクターの同志であり、仕事のパートナーであり、お客様であり、飲み友達でありと、熱い人脈に囲まれ、常に変化と刺激に溢れる人生を送っています。五十八歳にして、縁の大切さと素晴らしいことに感謝しています。

春、消防団活動四十六年をもって退団しました。

退団後、消防団での経験を活かし、大災害時における消防団後方支援隊の一員として頑張っていたところ、平成二十九年秋の叙勲で瑞宝単光章を頂けることとなりました。

家族はもとより、兄弟や周辺の方々が陰ながら協力してくれましたおかげと感謝しています。また、当時の通学仲間とは、数年前から春と秋に日帰り旅行を楽しむなど、親交が続く大切な仲間になっています。

同窓生のお店紹介

COCCOIO

▽名古屋市千種区

▽平成25年9月開店

▽オーナー・東條哲也さん

(平成12年電子科卒業)

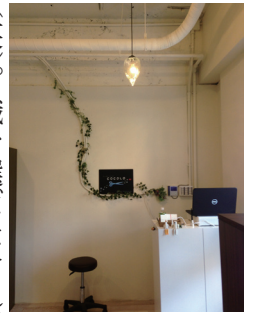


東條哲也さん

向陽一丁目で美容室を経営しています。ちょうど名電から池下駅に向かう途中にあります。「手に職を」という思いで、進路を大工と迷いましたが、制服がないという理由で美容師に決めました!

続けられた理由に、高校時代、バスケ部を途中で辞めたことがあります。だから仕事は辞めないという思いで、十七年目になりました。大阪ミナミで二十代を過ごし、二十九歳で名古屋に戻り、何店か経験させていただき今に至ります。

出店理由は「会社に使われるなら自分でやってみよう」です。美容界は、いろんなしながらありますから(ない所もありますが)



夢をかなえた店内

(笑)。職を選ばなければ、食べてはいけますが、やりがいを持てる仕事はそうはありません。

「有難う!」

この言葉が一番のやりがいです! 今は店がお休みの日は老人ホームに行つて訪問美容をしております。少子高齢化が進む時代に、美容室・理容室に行きたくてもいけない方の力添えになれたらと思います。どんな人にも変わらず毎日があるように、その毎日が気持ちよくなれば、自己満足かも知れませんが役に立てたかなと思います。

この活動を広げつつ、ご来店していただくお客様にも「有難う!」を言ってもらえるよう、日々精進したいと思つてます!

最後になりますが、これからの時代を生きていく若い世代へとバトンタッチできる社会に、微々たるものですが自分なりに貢献したいと考えております。

REYSOL

▽名古屋市中区

▽平成28年11月開店

▽オーナー・柏俊輔さん

(平成7年普通科卒業)



柏俊輔さん

イタリアン・スパニッシュをメインに地中海料理の店を、三蔵通(ナディアパークのある通り)の一本北側の通り)沿いにあるエトワールさかえ一階奥に移転して営業しています。メインメニューはブイヤベース・オマール海老のパエリア・チーズフォンデュです。パスタや肉料理もあります。

ワインも厳選し、各国の旨いワインを取り揃えリーズナブルにご提供致しております。奥まった所にありますので、隠れ家的には最高だと思います。

私自身、以前は全く畑違いの電気通信会社で施工管理をしていましたが、叔父が経営している店の後継ぎがないと相談を受け、元々料理の世界にも興味を持っていましたので、意を



提供する数々の地中海料理

決しこの世界に入ってきました。当初は叔父の店を継ぐ一心で働いていましたが色々ありまして、今に至ります。今では店の名前は違いますが、叔父や叔母に「のれん分けみたいな感じ」といつてもらえたことが、唯一の心の支えとなつております。日々精進の精神で頑張つていきますので、お近くにお寄りの際は、ご来店くださいますようよろしくお願ひ致します。

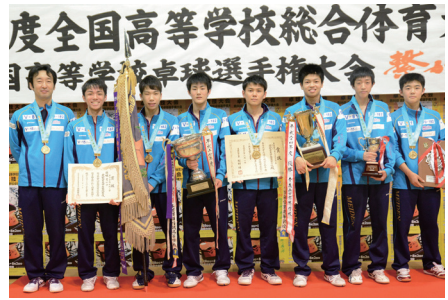
営業時間・ランチは日曜日を除く午前十一時~午後二時(ラストオーダー午後二時)、ディナーは日曜日~土曜日午後六時~午前零時(ラストオーダー午後十一時)。定休日は月曜日です。お一人様四千円から七千円と飲み放題コースもあります。(二十名様より貸切り可)

平成二十九年役員総会
名電高校同窓会の平成二十九年役員総会は五月十九日、四十四人が出席して名古屋市内のホテルで開かれました。五月四日に逝去した松浦兵征理事に全員で黙とうを捧げた後、永井広明会長が挨拶で在校生たちの部活での活躍をたたえ、続いて岩間博校長が学校の現況を報告しました。総会では第二回ホームカミングデイ開催などを定めた平成二十九年度の事業計画や予算など四議案を了承しました。

平成三十年新年会

高校同窓会の新年会が一月二十七日、名古屋市内のホテルで開かれ、同窓会役員とホームカミングデイスタッフとして参加した会員らが和やかに交流しました。永井会長は「全国大会で活躍が目覚ましい若い現役に負けないよう、我々も母校を盛り立て、卒業生のきずなを深めたい」と挨拶しました。歓談の席では、吹奏楽部OBの長村晃一さん(平成二十六年卒業)が率いるトリオ編成のバンドがジャズの演奏を披露しました。

卓球部が二年連続で頂点に



インターハイ完全制覇を成し遂げた高校卓球部 (写真提供: ニッタクニュース)

卓球部が二〇一七年のインターハイで学校対抗・シングルス・ダブルスの全種目優勝を成し遂げました。全種目制覇は二〇一六年に続いて二年連続。さらに主将の木造勇人選手(三年)は、名電として一九六八年の内藤良司選手以来四十九年ぶりとなる高校三冠(全種目優勝)を達成しました。学校対抗決勝は遊学館(石川県)と対戦。一番の宮本春樹選手(三年)は1-2とリードを許したものの、第四ゲームから粘りをみせて逆転勝利。続く二番シングルスも、三番ダブルスまで連続で戦う木造選手が「あとは自分が全部勝つ」の気迫で臨み、3-0で完勝しました。優勝に王手

をかけたダブルスは、木造・高見真己選手(三年)ペアが粘る相手を3-1で振り切りました。

シングルス決勝は、準々決勝で高見選手、準決勝で田中佑汰選手(二年)の名電勢を連破した野田学園(山口県)の戸上隼輔選手と木造選手の対戦になりました。第一ゲームから競り合う展開となり、ここ一番で強さを発揮した木造選手が3-1で勝って二年連続で頂点に立ちました。

ダブルスの決勝は、三年生の木造・高見ペアと、二年生の田中・一年生の加山裕選手のペアによる名電同士の対戦になりました。田中選手は昨夏は高見選手と組んでダブルスを制しており、連覇を目指して加山選手と果敢に攻めました。木造・高見ペアが3-1で優勝を収めました。

卓球部は、春の選抜と合わせ、これで全国大会四連勝。今枝一郎監督は「ぎりぎりの状態で戦いながら最高の結果を出した木造をはじめ、選手たちは皆レベルアップし、本当によく頑張ってくれました」と振り返りました。

名電トリオら銀メダル

木造勇人選手、高見真己選手、田中佑汰選手が出場した2017世界ジュニア卓球選手権イタリア大会の団体戦決勝は、日本と中国が対戦。昨年に続く日本の連覇はかきませんでしたが、堂々の銀メダルに輝きました。個人戦でもダブルスで木造選手・高見選手のペアと田中選手・宇田幸矢選手(JOCエリートアカデミー)のペアがともに銅メダルを獲得しました。

日本代表四人のうち、今年には名電の選手が三人を占めました。大会直前に張本智和選手(JOCエリートアカデミー)の欠場が決まり、エースの重責を担った木造選手をはじめ名電のトリオがチームの屋台骨を支えました。

団体準決勝の韓国戦は三時間を超える熱戦になりました。田中選手が初戦を落とした後、二番の木造選手、三番の高見選手がともにストリート勝ち。エース対決の四番は木造選手が逆転負けを喫したものの、ラストは田中選手が粘り強く逆転勝利しました。

水泳競技部

平成十四年に初めて全国高校総体出場を果たし、以降現在に至るまで出場回数を重ねています。当初はチーム種目(リレー)でしか出場できませんでしたが、ここ数年個人種目でも出場できるようになり、平成十七年に初めての入賞(五十メートル自由形)を果たし、ここ最近では三年連続で入賞しています。

総合成績では、平成二十一年に東海総合体育大会で女子総合優勝を果たすことができました。

クラブ紹介

ボウリング部

平成十三年に部員三名で創部したボウリング部は現在部員数は二十一名となり、毎年全国大会へ出場するほどに成長しました。また平成十八年度には全国制覇を、平成二十六年には全国第五位を成し遂げています。

日本での競技人口が第二位のスポーツであるボウリングは、近年若者の中で人気が復活しているのを受け、今年度初めて入部制限を行うほど希望者が集まり、また、初めての女子部

その他の大会では国民体育大会・日本選手権大会・全国JOC等への出場および入賞も果たし、その結果ジュニア日本代表にも選ばれ入賞した選手もおります。平成二十九年度においても三種目で全国高校総体に出場し、一種目のメダル入賞・一種目の入賞を果たし、国体にも選ばれ愛知県に貢献しました。現在男子二十五名・女子十五名の選手が在籍しており、『あきらめない』の信念で来年度の全国高校総体に向けて頑張っております。

員が入部しました。現在、名古屋市中区のスポルト名古屋にて、月・火・木・金の週四回練習しています。高校に入ってから初めてマイボール・マイシューズを買う生徒がほとんどですが、一年ぐらいいでアベレージスコア200を超える生徒がでてきます。練習中の真剣な投球姿勢や、終了時に整列して大きな声でボウリング場の方にお礼を言う姿など、日々の練習風景を見ていただいているお客さんからも励ましの言葉をよくいただくようになりました。

フエンシング部も連覇



尾矢陽太選手

フエンシング部の尾矢陽太選手（三年）が、二〇一七年インターハイのフエンシング競技・男子個人サーブルで優勝しました。名電高校として、同種目で昨年に続き二連覇を達成しました。

尾矢選手は、準決勝で尾矢選手とともに十七歳以下の日本代表に選ばれている森多諒選手（柳井学園高）と対戦。強みである「自由なアイデア」を出し続けることで相手の戦術を上回り、15―13で決勝ヘコマを進めました。決勝は昨年同種目で三位に入っている上野優斗選手（別府翔青高）と対戦、最後まで集中力を切らさず15―5と圧倒し、優勝を決めました。

富田弘樹監督は「来年度は愛知県でインターハイのフエンシング競技が実施されるので、名電高校として三連覇を目指し頑張りたい」と話しています。

春高バレーで健闘

新春、東京体育館で開催の全日本高校選手権大会（春高バレー）に、バレーボール部が三年ぶりに出場しました。前回出場時のベスト4を上回る成績は残せなかったものの、二回戦で前年覇者の駿台学園（東京）を2―1で撃破し、全国的な注目を浴びました。

平均身長一八〇センチと前回出場時より高さが無い選手たちですが、的を絞らせない多彩な攻撃により、出場校中トップの平均身長一八八・八センチを誇る駿台学園との体格差をはね返しました。崇徳（広島）と対戦した三回戦では第一セットを先取しましたが、残念ながら逆転負けしました。



開会式で入場する名電高の選手たち

吹奏楽部定期演奏会

吹奏楽部の定期演奏会が一月九日、名古屋国際会議場センチュリーホールで昼夜二部にわたり開かれました。伊藤宏樹教諭指揮の四部構成で、全国最多四十回の出場を果たした二〇一七年度の全日本吹奏楽コンクールの演奏曲目「宇宙の音楽」などを第一部で披露し感動を新たにしました。ミュージカルステージ「オズの魔法使い」など多彩な内容の第四部では、会場を巻き込んだの合唱も織り込み、活動のモットー「絆」の強さをアピールしました。

同部は三月二十一日、よこすか芸術劇場で開かれたアンサンブルコンテスト全国大会にも東海代表として出場しています。



圧巻の演奏を披露した定期演奏会

平成30年卒業クラス幹事の皆さん

【科学技術科】

- ▽A組 後藤優輔、堀田夢▽B組 岡嶋俊介、工藤凌▽C組 飯塚千奈、平野義博
- ▽D組 伊藤匠平、岡本一葉

【情報科学科】

- ▽A組 佐藤朱莉、濱口広務

【普通科】

- ▽A組 池戸颯唯、山元康太▽B組 宮地恭平、野村信介▽C組 吉田裕香、入手雄大▽D組 加藤綾人、牧田華実▽E組 鳥居嵩、中村美乃▽F組 牛田修平、堀尾暁人▽G組 足立龍哉、川上巧▽H組 今井周平、濱地一旗▽I組 安井元基、安井唯真▽J組 早野峰司、間瀬謙太郎▽K組 西村勇基、山本隼也

◆同窓会からお祝い◆

- 二十九年、高校のクラブ活動などに以下のように激励とお祝いをしました。
- ▽五月・全国大会優勝のお祝い ▯卓球部、フエンシング部
- ▽七月・全国大会出場クラブ激励Ⅰ（九クラブ） ▯卓球部、フエンシング部、バレーボール部、相撲部、ウエイトリフティング部、陸上部、自転車競技部、チアリーディング部、将棋部
- ▽十月・全国大会出場クラブ激励Ⅱ（三クラブ） ▯吹奏楽部、水泳部、陸上部
- ▽十二月・全国大会出場ク

吹奏楽部、将棋部、ボウリング部、バレーボール部 ▯平成三十年一月・センター試験激励（落ちないファイル等の購入） ▯進路指導部

綿勇夫先生が逝去

元教諭の綿勇夫先生が昨年八月二十七日に逝去されました。九十一歳でした。綿先生は昭和二十九年十二月に本校教諭となり、平成五年三月に定年退職しました。その後、平成七年三月まで非常勤講師を務めました。

岩間博校長の学校報告

永井会長様をはじめ同窓会会員の皆様には、日ごろから本校の教育活動にご理解とご協力をいただいております。



平成一十九年度は、高等学校に六百三十八人、附属中学校に百二十人の意欲あふれる新入生を迎えることとなりました。

昨年度から高校の校舎北側に新たに整備されました「瑞若スポーツセンター」のグラウンドや体育館にも、朝から夕刻まで活気がみなぎっています。

こうした雰囲気の中で今年度も部活動において素晴らしい成績を収めることができました。

卓球部は、昨年度に引き続きインターハイにおいて男子学校対抗、ダブルス、シングルの三冠を獲得し、フェンシング部も個人サーブルでインターハイ連覇を成し遂げました。

校訓「誠実・勤勉」の実践を目指して

また、バレーボール部はインターハイ三位に加えて、今年一月の「春高バレー」全国大会に三年ぶりに出場し、前年度優勝校を破る活躍を見せてくれました。この他に、水泳部、チアリーディング部、吹奏楽部、将棋部なども全国大会において好成績を上げるなど、いずれの部活動も今日までの伝統と実績を力として日々真摯な活動を続けています。

学習面においても、昨春の大学入試において四名の合格者を出した名古屋大学に今春も複数受験するなど、難関といわれる大学や学科にも積極的に挑戦しています。

さらに今年度の科学技術科三年生には、在学中に多くの資格試験に合格した生徒に授与されるジュニアマイスター特別賞の受賞者や、社会人でも難しい国家資格である建物取引士資格試験に合格した生徒もいます。

これらの成果は、部活動、学習の両面において高い目標を掲げながら地道に努力を続けている生徒が、本校の中に数多く育っている証であると思えます。

一方、スマホやSNSの広がりにより生徒たちの生活環境は大きく変化しています。その中で、生徒一人一人の自律心を育てていくことも大切な課題となっています。

現在、各教室には、昨春の卒業生から贈られた校訓「誠実 勤勉」の銘板が飾られています。

本校に学ぶすべての生徒が、具体的な目標を持って、学習と部活動に、まじめに、ひたむきに取り組むことで、将来、社会の第一線において活躍し、信頼される人となるよう願いながら、教職員が一丸となって指導に当たっていく所存です。

今後とも、同窓会の皆様には、母校に対する温かいご支援を心からお願ひ申し上げますとともに、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念しつつ報告とさせていただきます。

高校PTAから

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素よりPTA活動へのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。平成二十九年度PTA会長を務めさせていただきます梶谷和代と申します。

二十九年度のPTAでは例年の活動に加え、新たな試みとして九月の文化祭で『肉巻おにぎり』『焼き鳥』の模擬店を出



梶谷和代会長

「絆」を深め、さらなる挑戦を

活動の中で新たな取り組みを少しずつ取り入れ、子供の教育環境に良い効果をより一層あげられたいと願っております。今年度は学園創立百五周年ということで、十一月十日に後藤泰之理事長が式辞の中で「大切なのは、学生や生徒が『学んでよかった』と思える気持ち」、満足度を上げていくことが重要なポイントであると述べられました。

梶谷和代・高校PTA会長

た生徒が多く、指導する先生方、応援する生徒と保護者様の『絆』もそこから芽生えていると思われまふ。PTA活動で先生方と交流する中、生徒を想う学校の姿勢もわかり、親として『学ばせて良かった』と思う毎日です。愛知工業大学名電高等学校を卒業する皆様には「絆」を大事にして頂き、さらなる挑戦とご活躍を期待し、ここに私からの挨拶と代えさせていただきます。